



いこいな
©シンエイ/西東京市

広報

にしとうきょう

特集

「正解」より「問い」が 大事な時代に



子どもと向き合う
ヒント、あります

親の“当たり前”が、 今はもう当たり前じゃない？

今、子どもたちが学ぶ学校は、親世代とは大きく変わっています。小学校から始まる探究的な学習やプログラミング、キャリア教育。教材は、教科書だけでなく、タブレットを活用し、映像教材やWeb教材、アプリケーションなどさまざま。大学入試でも「知識の量」だけでなく、「考える力」や「伝える力」が重視されるようになりました。テストの点数だけでなく、「学ぶ姿勢」や「プロセス」も評価の対象に。まさに、教育は“正解を覚える”時代から、“問いを見つけて深める”時代へと進化しています。個別最適な学びと

協動的な学びを両立させる教育への転換は、「学びも、育ちも、オーダーメイド」とも言えます。

そんな中で、「うちの子、大丈夫かな?」「どう声を掛けたいの?」と、親も子も、戸惑いや悩みを抱えるのは自然なことです。だからこそ、学校だけでなく、専門員のいる地域の相談窓口も頼ってほしい。ひとりで抱え込まず、子どもについての不安や悩みを話してみませんか?

子どもと向き合うヒントが、ここにあります。

特集の続きは2面へ